

## 外国人からみる案内標識について 「観光立国」からの視点

## 1. 外国人から出されたいくつかの問題点 (『外国人が一人歩きできる国際観光地整備に向けて』)

## (観光案内図と地図)

- ・ 目的の観光施設がどこにあるかわかっててもどう行けばいいのかがわからなかった。
- ・ 縮尺と方向を表示してほしい。

## (行き先とルート)

- ・ 日本語だけの表示だったので、道のどちら側のバス停で待てばいいのかがわからなかった。
- ・ バス停で降りたあと、どちらの方向へ行けばいいのかがわからなかった。
- ・ 誘導看板が途中でなくなったので困った。

## (説明文)

- ・ 「Kamakura period」と書いてあったが、いつの時代のことかわからなかった。
- ・ 十分理解できない。

|                   |
|-------------------|
| 利用者側の立場 配慮<br>連続性 |
|-------------------|

## 2. 訪日外国人観光客数の伸び

## (1) アジアからが中心

- ・ 2003年の訪日外国人数は521万人、2010年には1,000万人(目標)
- ・ 目標を達成するためには今後6年間、増加率年約12%以上を維持
- ・ 2004年1月から5月まで(暫定・推定値)状況(国際観光振興会)
  - 246万人、前年同期間比16.0%増
  - 地域別に占める割合は、アジアが70%、北米が14.4%、オセアニアが3.5%、欧州が11.5%
  - 増加率は、アジアが38.1%、北米が1.4%、オセアニアが8.0%、欧州が10.3%
  - アジアの中でも韓国、台湾、中国の伸び率が大きい。それぞれ34.1%、25.8%、37.9%

## (2) 個人客と団体客

- ・ 韓国からの個人客(団体客から個人客へ移行)
- ・ 台湾と中国からの団体客
- ・ 個人客の主な利用交通手段は電車(レンタカー利用者は少ない)
- ・ 団体客の主な利用交通手段は貸し切りバス

|                                  |
|----------------------------------|
| アジア特に北東アジアが重要マーケット 漢字圏<br>個人客の増加 |
|----------------------------------|

## 3. 今後の案内標識のあり方と対策

- ・ あってしかるべきところ、ほしい情報、景観との調和
- ・ 漢字とローマ字そして記号(通り名と番号)
- ・ 外国人によるチェック機能
- ・ “案内標識” + リフリットなどの案内用の配布物でワンセット